

生活科部門

総評

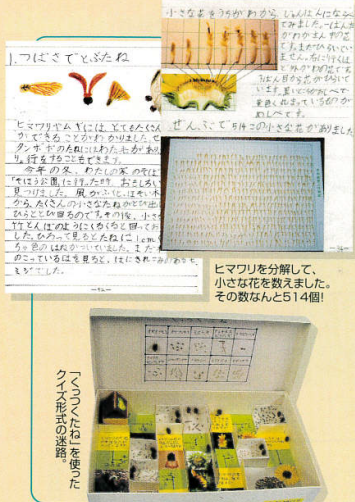
夏休みらしく、植物や昆虫の観察をまとめた作品が多く集まりました。観察・研究のあとに環境保護に考えを発展させる作品も目立ち、家庭や学校での意識の高まりがうかがえました。そのような中で作品として高く評価されたのは、興味を持ったことについて様々な角度から研究を行い、自分なりの見解をしっかりと述べている作品です。1、2年生ながらその研究に対するエネルギーには感心させられました。ただ一方で、観察日記に終わってしまっている作品、ホームページのまとめとなってしまう作品なども少なからずあり、残念でした。研究によって得られた結果について自分はどう考えたかをまとめることを意識して取り組むとよいでしょう。

賞 文部科学大臣奨励賞

たねのかんさつ

東京都 白百合学園小学校 2年生
友田 英里

質量ともに庄巻の作品。ヒマワリのかんさつ「たねのやり」行」という二つのテーマを白ページ近くのレポートに丁寧にまとめている。双葉が散れることなく、よほどしっかりと観察していないと気づかないことまで気づいています。観察をしている間にどんどん興味が広がっており、英里さんのエネルギーを感じました。最後に自然保護に目に向いている点にも感心させられました。今後は調べたデータを納得させられるように表現することができればさらに素晴らしい作品ができるでしょう。



ヒマワリを分解して、小さな花を数えました。その数なんと514個!

賞 子どもの文化・教育研究所 理事長賞

セミのおはようタイムと
おやすみタイムについて

神奈川県 鶴瀬小学校 1年生
宮下 萌乃

セミはどうやって目を覚まし、いつ鳴き出すのか?という自然の事象に対する疑問を、科学的なアプローチで研究した作品です。セミの鳴き出す時間、鳴きやむ時間を十七日間にわたって調べ、日の出、日の入り時刻との差などをまとめました。1年生ながら、毎朝日の出前に起きて研究に取り組む熱意に脱帽です。研究の結果、セミのおはようタイムとおやすみタイムは明るさだという結論を見事に導き出しています。



調べた時間を時計の形で表しています。

賞 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長賞

生活は水の植物へのえいきょうと
私にできるエコ生活

東京都 白百合学園小学校 2年生
尾田 春菜

もし下水処理場がなかったら、排水口から流れていく汚れた水は、どれくらい川や海や土を汚すかを調べるべく、春菜さんが考えたのは汚れた水でカイワレ大根が育つかどうか調べるという方法でした。洗濯用洗剤・食器用洗剤・石けん水・油、水の比較を行ったあとさらに一週間、普段よく使う歯みがき粉・シャンプーなども実験を続ける追究心に感心させられます。また、その結果をうけてシャンプーを使う量を減らすなど、エコライフに取り組む姿勢も立派です。



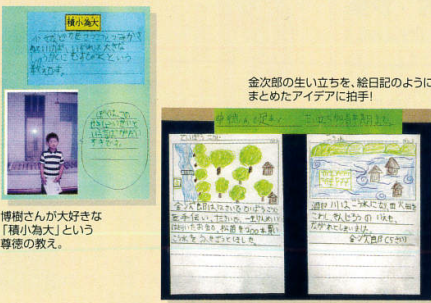
写真を有効に使い、わかりやすくまとめています。

賞 中央出版株式会社 社長賞

二宮金次郎のけんきゅう
群馬県 ぐんま国際アカデミー 初等部 2年生
高柳 博樹

思わずとんとん読み進めてしまう構成、レイアウトでセンスの光る作品です。二宮金次郎の生い立ちを、絵日記風に分かりやすくまとめられ、その生涯の活動もよく研究されています。人間にとってはたらくことが、勉強すること、一番大切なこと(金次郎)に共感し、「金次郎さんの教を心の中にも大切にもっといたい」と締めくくっています。博樹さんの成長が感じられる作品でした。

金次郎の生い立ちを、絵日記のようにまとめたアイデアに拍手!



博樹さんが大好きな「横小島大」という尊徳の教え。

賞 優秀賞

アリのけんきゅう パート2

神奈川県 茅ヶ崎市立松林小学校 2年生
花田 海大



ぼくのおまえんぼうのかめきち

神奈川県 茅ヶ崎市立小和田小学校 1年生
川原 牧人

